

新規事業採択時評価結果（令和3年度新規事業化箇所）

担当課：道路局 環境安全・防災課
担当課長名：荒瀬 美和

事業の概要

事業名	スマートICアクセス 一般県道蓮田白岡久喜線	事業区分	地方道	事業主体	埼玉県
起終点	自：埼玉県蓮田市黒浜地内 至：埼玉県蓮田市黒浜地内	延長	0.8 km		
<p>事業概要</p> <p>蓮田白岡久喜線は、蓮田市から白岡市を通り久喜市に至る幹線道路である。この路線に接続する東北自動車道の蓮田スマートICは、小型車（車長6m以下）限定で東京方面のみ出入可能なハーフICとして、平成24年2月から供用されている。令和元年9月に蓮田スマートICは、利用車種を全車種（車長12m以下）に拡大するとともに宇都宮方面の出入も可能とするフルインター化に向けた連結許可を国土交通省から受けた。スマートICのフルインター化に伴い、大型車を含めた交通量の増加に対応するため、アクセス道路となる当該県道の現道拡幅と線形改良を実施する。</p>					
<p>事業の目的、必要性</p> <p>今まで、宇都宮方面に向かう利用者は久喜ICを利用していたことから周辺道路は慢性的な渋滞が発生していた。フルインター化と当該県道を一体的に整備することにより交通の転換が図られ、地域の交通利便性が向上する。さらに、大型車が直接高速道路に出入りできるようになり周辺工業団地の物流の効率化が図られる。</p>					
全体事業費	6.3億円	計画交通量	8,800台/日		
<p>事業概要図</p>					

関係する地方公共団体等の意見
蓮田市から、蓮田スマートICのフルインター化の早期実現に向け、アクセス道路である県道蓮田白岡久喜線の整備について要望を受けている。

学識経験者等の第三者委員会の意見
新規事業化については妥当である。

事業採択の前提条件
費用対便益：便益が費用を上回っている。

事業評価結果

費用対便益	B/C	9.0	総費用：6.4億円 （事業費：5.7億円 維持管理費：0.79億円）	総便益：58億円 （走行時間短縮便益：56億円 走行費用減少便益：1.5億円 交通事故減少便益：0.53億円）	基準年 令和2年	
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=8.1 (交通量 -10%)	B/C=9.9 (交通量 +10%)		
		事業費変動	B/C=8.3 (事業費 +10%)	B/C=9.9 (事業費 -10%)		
		事業期間変動	B/C=8.2 (事業期間 +20%)	B/C=8.9 (事業期間 -20%)		
事業の影響	評価項目	評価	根拠			
	自動車や歩行者への影響	渋滞対策	◎	交通の転換による混雑の緩和。		
		事故対策	○	車道幅員の拡大と歩道整備による視距改善。		
		歩行空間	○	歩道整備による歩行空間確保。		
	社会全体への影響	住民生活	○	第二次救急医療機関（新久喜総合病院）への搬送時間短縮。		
		地域経済	◎	周辺工業団地から東北道を利用する物流が効率化。		
		災害	◎	SICが整備されることによる災害時の避難・救助、物資供給等のための緊急車両の通行確保。		
		環境	-	注目すべき影響はない。		
地域社会		○	近隣観光拠点へのアクセス向上。			
事業実施環境	◎	埼玉県と蓮田市で役割分担を定めた協定を締結し事業を推進する。また、地権者に用地協力の意思もあり早期着手できる環境がある。				

採択の理由

事業主体である埼玉県が実施した評価結果に基づけば、費用便益比が9.0と便益が費用を上回っており、事業採択の前提条件が確認できる。
また、蓮田スマートICのフルインター化とあわせてアクセス道路となる県道蓮田白岡久喜線を整備することにより、周辺道路の渋滞緩和だけでなく、防災機能の向上や地域の活性化などが見込まれることから、当該事業の整備の必要性・効果は高いものと判断される。
以上により、本事業は令和3年度新規事業化箇所として妥当であると考えられる。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。